



# 平成28年度 木島小学校グランドデザイン



## 飯山市教育大綱

- 1 夢に向かい、自分の道を切り拓き、たくましく生きる力を育てる教育の実践
- 2 ふるさとを知り、ふるさとを愛する、地域に根ざした教育の実践
- 3 国際感覚を養い、新しい時代に生きる力を育てる教育の実践
- 4 個性や多様性を尊重し、共生社会をつくるための豊かな人間性を育てる教育の実践
- 5 地域・家庭・学校が連携して教育力を高め、地域に学ぶ生涯学習の実践

**学校教育目標**  
**自ら学び**  
**豊かな心を持ち**  
**たくましく生きる児童**  
**が育つ学校**

## 第2次 長野県教育振興基本計画

- 「一人ひとりの学びが生きる教育立県“信州”の創造」
- I 知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間の育成
  - II 多様性を認め、共に生きる社会の実現
  - III 社会全体で共に育み共に学ぶ教育の推進

## 願う児童の姿

- |        |        |         |   |
|--------|--------|---------|---|
| 1 学ぶ   | (はきはき) | 「かしこく」  | 知 |
| 2 なかよし | (にこにこ) | 「やさしく」  | 徳 |
| 3 きたえる | (わくわく) | 「たくましく」 | 体 |

赤字, 本年度変更

## 【本年度の重点】

- 1 聞く, 話す, 書く, 伝える 「関心・意欲・態度を高める」
- 2 挨拶(礼), 歌声と読書 「豊かな心…**怒(思いやり)と感動**」
- 3 遊び, 運動, 清掃 「すすんで体を動かす」

全校研究テーマ「学ぶ意欲を高め、自ら課題を追究していく子ども  
の育成」日々の授業改善を通して

## 「表現」

→確かな学力の定着と向上

【授業の**見とどけ**を重視した  
日常的な授業改善】

- 算数科(算数数学教育研究会発表)
- ・「思考力」を育てる算数教育
- 特別支援教育(通常学級)  
(教育課程研究協議会会場校)
- ・「**自己有用感**」を育てる特支教育
- 定着**を図るための家庭学習へ  
・年間読書**110冊(家庭との連携)**
- 集中力を高めるドリルタイム
- ◎学力諸検査等での検証  
(**経年変化の累積**→指導の重点)

## 2 「挨拶・歌声」

→心の響き合い

- ◇大きな声で挨拶できる子
- ◇ルールを守り友だちと仲よく遊ぶ子
- いじめ, 不登校の未然防止  
「1日休んだら電話連絡,  
2~3日休んだら家庭訪問」
- Q-U検査の活用(**2回研修会**)
- 教育相談週間(7月, 12月)
- 健康教育, 保健指導の充実
- 飯山養護学校, 福祉施設との交流

## 3 「遊び・運動・清掃」

→体力向上

- ◇目標をもって運動に取り組む子
- ◇掃除に真剣に取り組む子
- ◇健康診断→**治療率の向上**  
(66.7% → 70%)
- 8の字ジャンプ(縄跳び)に挑戦
- 全校縦割り活動(姉妹学級交流,  
なかよし清掃, 全校運動)
- 農業体験活動(米作り, 野菜作り,  
食文化の体験活動)
- 「みどりの少年団」の活動
- 木島小学校スポーツクラブ

授業設計力の向上  
〈家庭学習と一体化〉

人間関係力の向上  
〈**人権教育**を中核に〉

健康な体, 運動能力の向上  
〈**歯みがき**〉  
〈**疾走能力, 瞬発力, 柔軟性**〉

## 小中連携(城南中校区)

- ①小中高連携担当中学校教員  
担当授業(5年, 6年算数)
- ②飯山市第四次学力向上事業を  
受けての取り組み(4年次)
- ③学力向上を図る情報の共有  
・学力検査全校実施  
(**評定1, 10%以内**)  
・クリア, チャレンジ問題の活用
- ④ ICT教育の活用, 推進(飯山市)

## 学校評価からの課題

- ①「見届けで終わる授業をしている」  
(職員の自己評価)→**まとめ10分確保**
- ②「授業中, 自分の考えを発言すること」に課題 (児童の自己評価)
- ③「読み・書き・計算」, 「健康な生活」,  
「家や地域でのあいさつ」, 「家庭へ  
の連絡や情報提供」に課題  
(保護者の要望)

## 地域の教育力と連携

- ①**創立130周年**  
・**木島振興委員会**のご支援  
(地区全戸がPTA準会員)
- ②総合的な学習など推進のための  
人材バンクの整理, 見直し(外部  
講師, 学習支援ボランティアとの  
連携)→ **ふるさと教育再構成**
- ③ホームページを活用, 発信